

宝生会 月並能

平成三十年九月九日(日)
午後二時始

演目の解説

能「井筒」(いづつ)

在原寺の跡を訪れた僧の前に一人の女が現れます。水を汲み、花を手向ける女に不審を抱いた僧は言葉をかけ、業平に所縁のある人かと尋ねます。女は生きていた時から昔男と言われていた業平に何の所縁がありましようかと答えますが、紀有常の娘と業平の恋物語を語り、紀有常の娘の霊であることを仄めかして井筒の陰に消えてしまいます。その夜、僧の夢に業平の姿で現れた女は、美しい舞を舞い、井筒を覗き込み、そこに恋しい業平の姿を見て、夜の明けると共に去って行きます。世阿弥作にして能を代表する屈指の名曲です。

狂言「茶壺」(ちやつぽ)

梅尾(とがのお)で茶を買い求めた男が、知人の家で酒を振舞われ、すっかり酔っ払って茶壺を背負ったまま街道で寝込んでしまいます。そこへ通りかかったすっぱが茶壺を盗もうと、さも自分が茶壺を背負っていたかのように見せかけて背中合わせに横たわります。目が覚めた男とすっぱがそれぞれに茶壺は自分の物だと言い争うところへ、目代(代官)が通りかかり、二人の言い分を聞きますが、どちらとも判断がつかえません。そこで目代は…。

能「飛雲」(ひうん)

本山三熊野の山伏達が、羽黒山を目指してやつて来ます。木曾路にかかると、薪を負った老人が現れ紅葉の木陰に休みます。山伏は言葉を交わし、黒主や業平の歌を引き、龍田や嵐山、高尾などの紅葉の名所の話をし、今宵ここで夜を明かせば、また現れて慰めようと言つて谷深く分け入つて行きます。その夜の山伏の夢に末社の神が現れ、先程の老人は悪鬼の化身であると告げます。山伏達が三熊野権現を勧請して祈っていると雲の中から悪鬼が現れ襲いかかりますが、山伏達の必死の祈りに、退散し消え去ります。

14:00

井筒

シテ 佐野 登

ワキ 大日方 寛

間 石田 幸雄

大鼓 佃 良勝
小鼓 観世新九郎
笛 藤田朝太郎

後見

三川 淳雄
中村孝太郎
澤田 宏司

地謡

小林 晋也
小倉伸二郎
大友 順
山内 崇生
登坂 武雄
小林与志郎
當山 孝道
藤井 雅之

15:45

茶壺

野村 萬斎

野村 裕基
野村太一郎

16:25

飛雲

シテ 金井 雄資

ワキ 則久 英志

間 内藤 連

大鼓 安福 光雄
小鼓 幸 信吾
太鼓 徳田 宗久
笛 寺井 宏明

後見

武田 孝史
小倉健太郎

地謡

高橋 憲正
和久莊太郎
水上 優
野月 聡
辰巳満次郎
宝生 和英
朝倉 俊樹
高橋 亘

終演予定 午後五時二十分頃

次回予告

平成三十年十月十四日(日)
午後二時始

葵	敦
梓之出	盛
上	山内
野月	崇生
聡	

◎入場料

S席 正面 / 8,000円 A席 正面 / 7,000円
B席 脇正面 / 6,000円 C席 中正面 / 5,000円
D席 自由席 / 3,000円
学生割引 全席種1,000割引 ※30歳未満の学生の方

◎チケットお申込先

宝生能楽堂オンラインチケット
<http://www.cnplayguide.com/hosho/>

宝生能楽堂事務局
03-3811-4843(火曜～日曜10時～17時)

カンフェティ (五雲会のみ販売)
0120-240-540(平日10時～18時)
<https://www.confetti-web.com/>



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)